



## 2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年6月26日

上場会社名 株式会社オークワ 上場取引所 東  
 コード番号 8217 URL <http://www.okuwa.net>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神吉 康成  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理本部長 (氏名) 東川 浩三 (TEL) 073 (425) 2481  
 兼 IR室長  
 四半期報告書提出予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年2月21日~2020年5月20日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	68,720	8.8	2,011	—	2,071	—	1,168	—
2020年2月期第1四半期	63,191	0.5	△23	—	51	△87.7	△24	—

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 1,102百万円( — %) 2020年2月期第1四半期 △188百万円( — %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	26.66	26.65
2020年2月期第1四半期	△0.55	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第1四半期	137,171	75,628	55.0
2020年2月期	136,362	75,100	54.9

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 75,402百万円 2020年2月期 74,875百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年2月期	円 銭 —	円 銭 13.00	円 銭 —	円 銭 13.00	円 銭 26.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年2月21日~2021年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	138,000	5.7	3,000	305.7	3,050	241.0	1,700	592.5	38.79
通期	274,000	3.2	4,450	29.0	4,700	25.1	2,000	39.9	45.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料6ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年2月期1Q	45,237,297株	2020年2月期	45,237,297株
2021年2月期1Q	1,399,934株	2020年2月期	1,406,623株
2021年2月期1Q	43,831,062株	2020年2月期1Q	44,623,911株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響により景気減速懸念が広がる中、雇用・所得環境の堅調な推移や個人消費の持ち直し等を背景に、緩やかな回復基調が続いておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済のリスクは急激に拡大したことから、日本経済も急速に悪化し、国内景気も厳しい環境にあり、先行不透明感な状況が続いております。

小売業界におきましても、新型コロナウイルスの感染拡大による学校休校、在宅勤務、外食控え等からくる内食需要の高まりへの対応、店舗における感染拡大防止策の実施等、求められるものはめまぐるしく変化しており、労働需給の逼迫による人件費、物流費の上昇や根強い節約志向による業種業態を越えた顧客の獲得競争も厳しさを増しており、依然厳しい経営環境が続いております。

このような状況下において、当社は年度スローガンを前期から引き続き『業務を精査し「やめる・減らす・見直す」働き方改革でお客様満足度・従業員満足度アップを実現しよう』とし、前期よりスタートした「新中期経営計画」において、新たな成長戦略に挑戦し持続的な成長を実現するため、『持続的成長発展につながるオークワブランドを確立し、地域社会へ貢献し続けるリージョナルチェーンを目指す』を中期スローガンとして掲げ、3つのR(Reborn:生まれ変わる、Real:現場最優先、Refresh:リフレッシュ)をキーワードに、新たな価値とサービスの創造、オークワブランディング計画の実現に向け本格的に始動いたしました。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大への対応として、従業員のマスク着用、手洗い等の衛生管理の徹底など安全対策を行い、過度な混雑回避や商品の安定供給をはかるため、タイムサービス等の自粛を行いながら、社会インフラとしての役割を担うべく、営業を継続いたしました。

当期の新規出店につきましては、愛知県下13店舗目となる「豊橋ミラまち店」(愛知県豊橋市)を2月にオープンし、東海エリアのドミナント強化を図りました。3月には「名張西原店」(三重県名張市)を移転新築オープンし、159店舗の店舗ネットワークとなりました。

連結子会社については、食品スーパーの㈱ヒラマツは、コスト構造の見直しを図り増収増益となりました。外食の㈱オークフーズは、新型コロナウイルスの感染拡大による環境変化が影響し、減収減益となりました。

また、㈱リテールバックオフィスサポートは、当社グループ内を中心に店舗・施設の管理業務を継続して行い、㈱サンライズは、農産物等の加工・配送を担うことで、グループ全体の業務効率化に寄与しております。

以上により、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う内食需要の高まりにより売上高が押し上げられた結果、営業収益(売上高及び営業収入)は687億20百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益は20億11百万円(前年同期は営業損失23百万円)、経常利益は20億71百万円(前年同期は51百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億68百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失24百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億8百万円増加し、1,371億71百万円となりました。流動資産では12億4百万円の増加であり、これは主に受取手形及び売掛金が12億11百万円増加したことによるものであります。固定資産では3億96百万円の減少であり、これは主に建物及び構築物(純額)が6億54百万円増加した一方、有形固定資産の「その他(純額)」に含まれる建設仮勘定が9億2百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2億79百万円増加し、615億42百万円となりました。流動負債では12億8百万円の増加であり、これは主に流動負債の「その他」に含まれる設備関係電子記録債務が7億34百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が18億53百万円増加したことによるものであります。固定負債では9億28百万円の減少であり、これは主に長期借入金が10億55百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億28百万円増加し、756億28百万円となりました。これは主に利益剰余金が5億98百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績等を踏まえ検討した結果、2020年3月30日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,361	16,381
受取手形及び売掛金	4,438	5,649
商品及び製品	9,781	9,831
その他	2,087	2,011
貸倒引当金	△8	△10
流動資産合計	32,659	33,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,075	46,729
土地	31,705	31,549
その他(純額)	8,645	7,892
有形固定資産合計	86,426	86,171
無形固定資産		
その他	3,891	3,858
無形固定資産合計	3,891	3,858
投資その他の資産		
その他	13,397	13,289
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	13,384	13,276
固定資産合計	103,702	103,306
資産合計	136,362	137,171
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,285	15,138
短期借入金	4,860	4,660
1年内返済予定の長期借入金	5,552	5,150
ポイント引当金	1,452	1,491
その他	14,509	14,426
流動負債合計	39,659	40,867
固定負債		
長期借入金	12,977	11,922
退職給付に係る負債	76	78
資産除去債務	3,227	3,273
その他	5,321	5,399
固定負債合計	21,603	20,674
負債合計	61,262	61,542

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,117	14,117
資本剰余金	15,019	15,017
利益剰余金	47,626	48,225
自己株式	△1,681	△1,673
株主資本合計	75,080	75,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61	△28
退職給付に係る調整累計額	△267	△255
その他の包括利益累計額合計	△205	△284
新株予約権	49	42
非支配株主持分	175	183
純資産合計	75,100	75,628
負債純資産合計	136,362	137,171

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年2月21日 至2019年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年2月21日 至2020年5月20日)
売上高	60,681	66,041
売上原価	44,801	47,933
売上総利益	15,879	18,108
営業収入		
不動産賃貸収入	825	793
その他の営業収入	1,684	1,885
営業収入合計	2,509	2,678
営業総利益	18,389	20,787
販売費及び一般管理費	18,412	18,775
営業利益又は営業損失(△)	△23	2,011
営業外収益		
持分法による投資利益	41	18
リサイクル材売却収入	29	18
違約金収入	2	20
その他	27	29
営業外収益合計	101	87
営業外費用		
支払利息	21	20
その他	5	6
営業外費用合計	26	27
経常利益	51	2,071
特別利益		
固定資産売却益	7	-
補助金収入	-	36
特別利益合計	7	36
特別損失		
固定資産除却損	2	1
減損損失	-	299
その他	0	0
特別損失合計	2	301
税金等調整前四半期純利益	56	1,806
法人税等	75	624
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△19	1,181
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	12
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△24	1,168

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年5月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△19	1,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△172	△90
退職給付に係る調整額	3	11
その他の包括利益合計	△168	△78
四半期包括利益	△188	1,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△193	1,090
非支配株主に係る四半期包括利益	5	12

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。